

世界祈禱日 2025

in
札幌

クック諸島からのメッセージ

わたしたちはおそろしいほどに、
すばらしく造られています

2025.5.17(土) 13:30~15:15

日本基督教団

札幌北光教会／中央区大通西1丁目14

12:30 受付開始

13:30~13:55 ミニ・トーク『クック諸島とマオリの文化』

14:00~15:15 合同礼拝

15:30~16:30 交流会(北光教会ガリラヤホール)

式文冊子：200円・交流会参加費：300円

Kūki 'Āirani ラロトンガ語

Cook Islands 英語

主催：世界祈禱日2025 in 札幌 実行委員会

協力：札幌キリスト教連合会・カトリック札幌教区エキュメニカル委員会

札幌での 「世界祈祷日2025」への お誘い

「世界祈祷日」とは

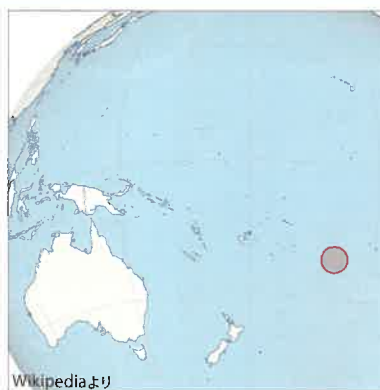
「世界祈祷日」は1887年、多様なキリスト教の伝統を共有するアメリカの女性たちが、移住者、抑圧されている人たちのために始めた運動です。その後、地球規模の視野をもって、和解と平和を求める祈りによる世界的な運動に発展しました。

キリスト教のさまざまな教派が、協働して開催すること、また現在でも女性が運営に重要な役割を果たしていることが大きな特徴です。伝統的には3月最初の金曜日に開催されてきましたが、他の日程でもかまわないとされていますので、札幌は5月17日にすることに決めました。

世界のさまざまな国をとりあげ、その国のクリスチャンのために祈る「世界祈祷日」では、毎年、世界のどこか1国をとりあげ、その国の女性たちが、礼拝の式文を作成します。これを式文作成国と言います。2025年の式文作成国は、オセアニアのクック諸島になりました。

「世界祈祷日」での献金は、「世界祈祷日」国際委員会(WDP)を通じて、式文作成国や、国内外の女性たちのさまざまな活動支援に使われます。

オセアニアの平和と環境を祈って・・・



伝説では、ルーと呼ばれる男が、ポリネシア人の故郷であるアヴァイキ島(ソシエテ諸島)から、カヌーでクック諸島にやってきた最初の人間だとされています。見えない島にまで、星と風、潮流を頼りに、伝統的な航法で航海するためのカヌーは、マオリ文化にとって、きわめて重要なものです。

クック諸島は、オセアニア東部、ポリネシアの東部にあり、24のサンゴ礁と火山島からなっています。ニュージーランド(NZ)と自由連合形態をとり、その構成国の一つです。1773年にジェームズ・クックがヨーロッパ人として初めて探検したことから、こう呼ばれます。しかし、先住民族は、マオリの人々であり、少なくとも西暦9世紀頃からは、この島に住み、NZ(マオリ語ではアオテアロア)と密接に交流してきました。



クック諸島にキリスト教が伝えられたのは1821年です。その2年後に教会が建てられ、1923年、その200周年記念碑が造られました。プロテスタントが約70%、カトリックが約30%を占めています。

プログラム *事前申し込みは不要です



日時：2025年5月17日(土)

場所：日本基督教団札幌北光教会/札幌市中央区大通西1丁目 011-241-3614

12:30 札幌北光教会1F ロビー で受付開始

- ◆礼拝の式文冊子をお持ちでない方は購入できます(200円 約200部用意)
- ◆合同礼拝後の交流会(15:30～16:30)に参加希望される方の受付もいたします(参加費300円：先着100名)

13:30 礼拝堂にて開会

13:30～13:55 ミニ・トーク『クック諸島とマオリの文化』
(小野有五：カトリック札幌教区エキュメニカル委員会代表)

14:00～15:15 合同礼拝
(式文冊子に従って行われますので、式文冊子をご用意ください)

メインメッセージ：指方愛子(札幌北光教会)

オルガン：南部紀子(札幌北光教会)

15:30～16:30 2F ガリラヤホールにて交流会

*ライブ配信もあります

ライブ配信 URL <https://x.gd/P1iLP>

ID: 847 5131 0778

パスコード: 904490



主催者からのお願い：写真にあるように、花はクック諸島の女性たちには欠かせないものです。式文では、その地で咲いている生花を一輪、髪か、服に挿して、一緒に礼拝しましょう、とあります。主催者側でも、できるだけ用意するつもりですが、もし、ご自宅の庭などにお花があったら、一輪でも二輪でも、お持ちいただけるとさいわいです。花は神さまの造られた美しい自然の象徴です。花から命の息吹をもらいつつ、神を賛美しましょう。

マオリ文化を一言で言えば、やはり、命が躍動する文化、と言えるでしょう。太平洋の波と太陽の光、花、鳥、魚といった自然に育まれたマオリたちは、そのエネルギーを受けとめ、再び、体全体から波動として発散させるのです。ですから、まず波の音に耳を傾け、そして自ら体を動かし、深呼吸し、といった独特の式文が作られています。神さまが、自然と、そして私たち自身を最初からすばらしいものに造ってくださったことに全身を使って感謝する、マオリの礼拝のあり方に、

学んでみましょう!



伝統的な歌を歌い踊る NZ のマオリの人たち。かつて教会が禁じた伝統的なタトゥーが復活しています。